

## 研究課題：PFAPA の臨床症状と対応状況に関する多施設共同研究

1. 研究目的：周期性発熱・アフタ性口内炎・咽頭炎・リンパ節炎症候群は通常 PFAPA と呼ばれ、自己炎症性疾患の一つとして知られています。また、2 歳から 5 歳ごろに発症し、寛解するのは 10 歳ごろと考えられています。

PFAPA の診断は臨床形態を主としています。また、小児科のみならず耳鼻科の先生方にも診療頂く疾患です。しかし、PFAPA における診断・治療・予後に関する情報はまだしっかりわかっておりません。本研究では診療録を用いて PFAPA の実態調査を目的とし、今後の診療に活かしていくことを目標としています。

2. 研究概要：研究デザイン：後方視的観察研究

3. 研究の方法

対象となる患者様：2019 年 1 月～2019 年 12 月に当科において、PFAPA の診療をされたお子様です。

4. 研究期間：公示期間 2020 年 3 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日

5. 研究に用いる資料・情報の種類：診療録、血液検査、画像・病理検査

6. 外部へ資料・情報の提供、研究成果の公表：学会研究会報告、学術論文

7. 研究組織：埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科 医長 佐藤 智

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

この研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では当科において既に管理している患者様のデータを使用させていただきます。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。しかしながら、様々な理由により本研究への参加を辞退される場合には、遠慮なく担当医師へご連絡下さい。本研究への参加は患者さまの自由意志であり、参加の辞退を希望されても患者様が不利な扱いを受けることは一切ありません。参加を辞退される方は、上記の公示期間内に下記連絡先へご連絡下さい。なお、公示期間の後でも、可能な限りご希望に沿って対応いたします。

いつでも相談窓口にご相談下さい。

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）